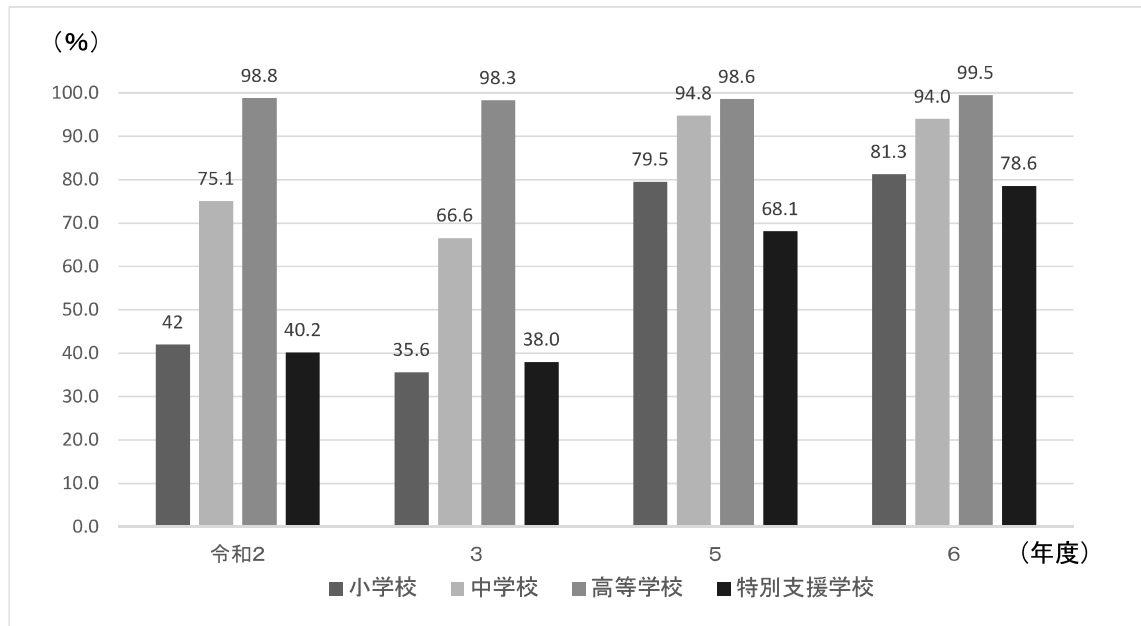


第6章 情報通信環境

1 県内の児童・生徒のインターネット接続機器の所持率(学校が貸し出している端末を除く)



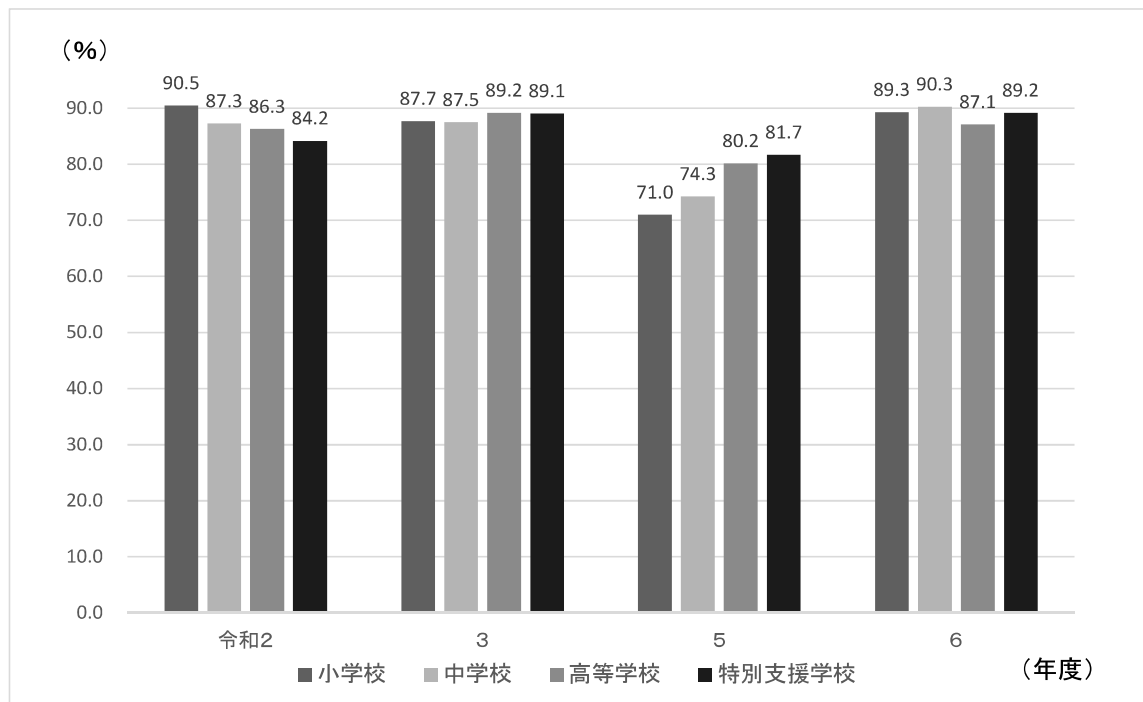
資料：県教育DX推進室「インターネット利用等に関する調査」

※ 令和3, 6年度：保護者対象

※ 令和4年度：調査なし

※ 令和2, 5年度：児童生徒対象調査

2 県内の自分専用のスマートフォン（携帯電話を含む）所持者に対するフィルタリング設定率



資料：県教育DX推進室「インターネット利用等に関する調査」

※ 令和3, 6年度：保護者対象調査

※ 令和4年度：調査なし

※ 令和2, 5年度：児童生徒対象調査

3 県内の子どもの平日の平均利用時間

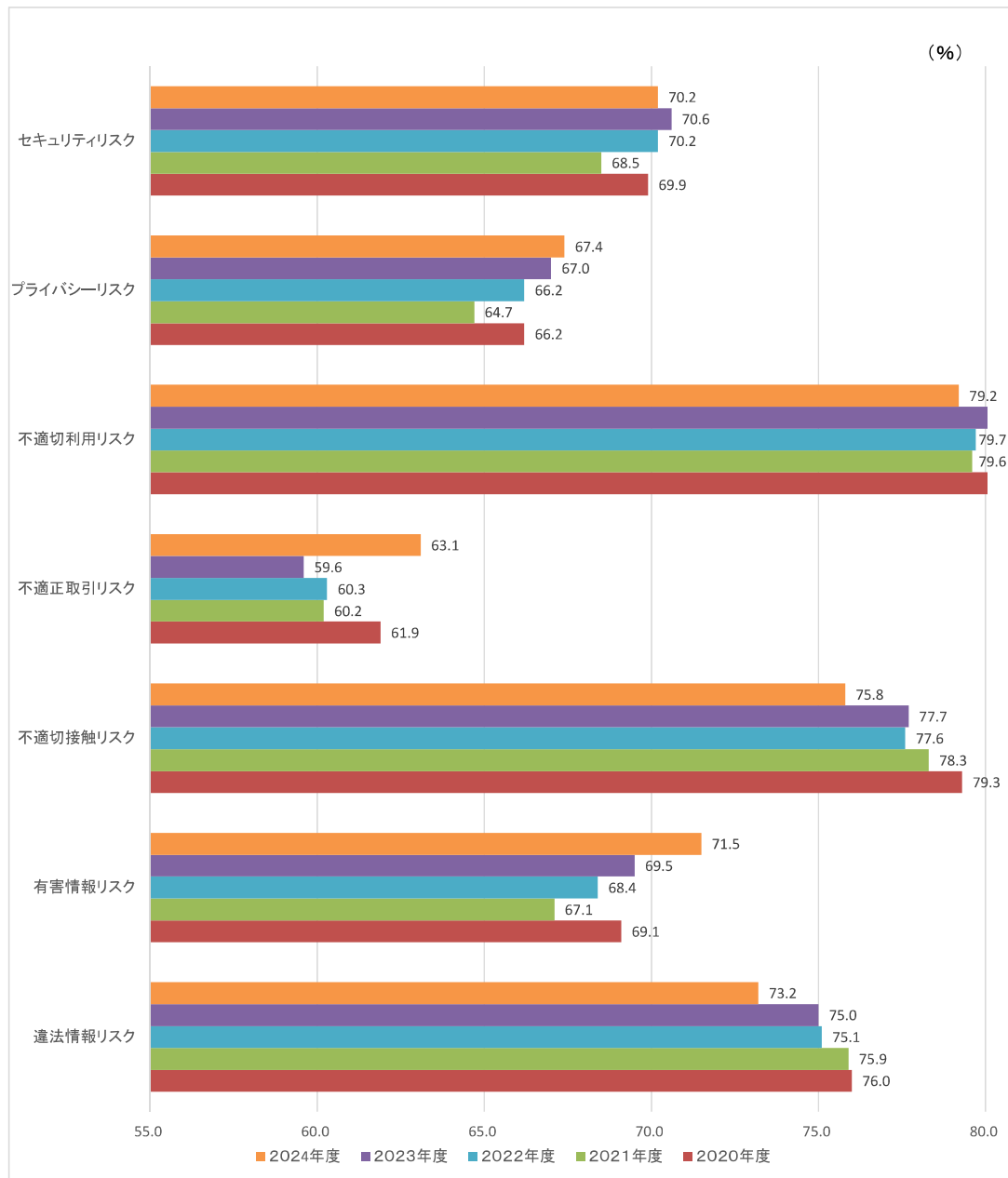
(単位：％)

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
利用していない	15.3	4.1	0.9	18.3
30分未満	12.1	6.4	2.1	6.1
30分以上～1時間未満	22.0	17.1	8.8	15.4
1時間以上～2時間未満	28.8	31.8	26.2	24.3
2時間以上～3時間未満	14.3	23.1	30.2	17.7
3時間以上～4時間未満	4.5	10.1	17.0	10.6
4時間以上～5時間未満	1.6	3.5	7.3	3.5
5時間以上	1.4	3.9	7.5	4.1

資料：県教育DX推進室「令和6年度インターネット利用等に関する調査」

※ R6年度：保護者対象調査

4 インターネット・リテラシー（リスクの中分類別における正答率）



資料：総務省「青少年のインターネット・リテラシー指標等に係る調査結果」

※ 総務省において、インターネット上の危険・脅威に対応するための能力とその現状等を可視化するため、2012年度より毎年、高等学校1年生を対象に、青少年のインターネット・リテラシーを測るテスト（ILASテスト）を実施

※ 2024年度調査は、2024年11月から2025年1月にかけて、全国30校の国公立・私立の高等学校において、計5,314名の1年生相当を対象にIDを割り付けた上で無記名形式でテストを実施

【参考】青少年に必要なリスク対応能力の分類

リスク分類		対応能力	リスクの具体例
大分類	中分類		
プライバシー・セキュリティリスク	セキュリティリスク	適切なセキュリティ対策を講じて利用できる。	ID、パスワード、ウイルス等
	プライバシーリスク	プライバシー保護を図り利用できる。	プライバシー、個人情報の流出等
	不適切利用リスク	利用料金や時間の浪費に配慮して利用できる。	過大消費、依存、歩きスマホ、マナー等
不適正利用リスク	不適正取引リスク	電子商取引の問題を理解し、適切に対処できる。	フィッシング、ネット上の売買等
	不適切接触リスク	情報を読み取り、適切にコミュニケーションができる。	匿名SNS、迷惑メール、SNSいじめ等
不適正利用リスク	有害情報リスク	有害コンテンツの問題を理解し、適切に対処できる。	不適切投稿、炎上、閲覧制限等
	違法情報リスク	違法コンテンツの問題を理解し、適切に対処できる。	著作権、肖像権、出会い系サイト等